

## 検査項目情報 (その1)

	【項目名】	【項目名称】	【基準値】	【単位】	【検査の説明】
肝機能検査	総蛋白量	血清総蛋白量	6.5-8.2	g/dl	肝臓の機能を知るための検査です。 肝臓は代謝の中心的役割を担っています。吸収された栄養分の代謝・合成・貯蔵のほか、代謝にともなう各種の分解産物・アルコールなどの有害物質の解毒作用も担っています。様々な機能を持つ肝臓の疾患では、検査項目の組み合わせやその程度により、障害の診断や病態の把握が可能です。
	アルブミン	アルブミン	3.5-5.1	g/dl	
	T B I L	総ビリルビン	0.22-1.10	mg/dl	
	D B I L	直接ビリルビン	0.05-0.40	mg/dl	
	T T T	チモール混濁試験	0.0-5.0	K.U	
	Z T T	硫酸亜鉛混濁試験	4.0-12.0	K.U	
	AST(GOT)	アスパラギンアミノトランスフェラーゼ	8-38	IU/L	
	ALT(GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ	4-44	IU/L	
	ALP	アルカリフォスファターゼ	104-338	IU/L	
	LD(LDH)	ラクトデヒドロゲナーゼ	106-211	IU/L	
	γ-GTP	γ-グルタミルトランスアミナーゼ	16-73	IU/L	
CHE	コレステラーゼ	男性:214-458 女性:198-382	IU/L		
アンモニア	アンモニア	10-75	μg/dl		
腎機能検査	Na	ナトリウム	134-147	mEq/L	腎臓の機能を知るための検査です。 腎臓は体に不必要な物質を尿として体の外に排泄し、体内の恒常性を維持する臓器であり、血圧にも関係があります。
	K	カリウム	3.5-5.5	mEq/L	
	Cl	クロール	98-108	mEq/L	
	Ca	カルシウム	8.0-10.2	mg/dl	
	IP	無機リン	2.5-5.5	mg/dl	
	BUN	尿素窒素	10-22	mg/dl	
	CRTN	クレアチニン	男性:0.8-1.3 女性:0.5-0.9	mg/dl	
	UA	尿酸	男性:3.0-7.5 女性:2.6-6.0	mg/dl	
脂質検査	T-CHO	総コレステロール	130-220	mg/dl	脂質（脂肪）のうち、総コレステロールやLDL-Cコレステロールが高い場合は、動脈硬化などの原因となる場合もあります。中性脂肪は健康人でも食後は高値になります。（高脂血症治療ガイドより）
	中性脂肪	中性脂肪	34-150	mg/dl	
	HDL-C	HDL-Cコレステロール	男性:42-67 女性:48-74	mg/dl	
	LDL-C	LDL-Cコレステロール	70-139	mg/dl	
糖関連検査	空腹血糖	空腹時血糖	70-110	mg/dl	糖尿病の診断や治療による糖のコントロール状態を把握するための検査で、食事の影響を受けます。HbA1cは約1ヶ月前の、グリコアルブミンは約2週間前の糖のコントロール状態をそれぞれ反映します。
	HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.6-6.2	%(NGSP)	
	グリコアルブ	グリコアルブミン	12.3-16.5	%	
内分泌検査	IRI 前	インシュリン	3-15	μU/ml	ホルモンは体の内部環境を一定に維持する役割を果たしています。ホルモンの量や働きを調べることは、内分泌疾患の診断や治療に有用です。 HCGは妊娠に関連するホルモンです。HCG定性は妊娠の有無を判定するときに有用です。
	TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.35-4.94	μIU/ml	
	FT3	遊離トリヨードサイロニン	1.71-3.71	pg/ml	
	FT4	遊離サイロキシン	0.70-1.48	ng/dl	
	HCG定性	HCG定性			
	βHCG定量	HCG定量	0-5	mIU/ml	
蛋白検査	CRP	CRP定量	0.3以下	mg/dl	体内には多くの種類の蛋白質が存在し、生体の修復・再生・防御などを担っています。これらの蛋白質について詳しく調べることは、疾患の診断や治療に有用です。 トロポニンT・H-FABPは心筋梗塞の早期診断に有用です。 BNPは心疾患の病態把握に有用で
	IgG	IgG定量	870-1700	mg/dl	
	IgA	IgA定量	110-410	mg/dl	
	IgM	IgM定量	35-220	mg/dl	
	ハプトグロ	ハプトグロビン	108-193	mg/dl	
	ミオグロ	ミオグロビン	男性:76以下 女性:64以下	ng/ml	
	トロポニンT	トロポニンT	(-)		
	H-FABP	H-FABP	(-)		
BNP	BNP	0-18.4	pg/ml		

検査結果や検査項目（記載以外の項目を含む）の詳細については、主治医にご確認願います。

小樽市立病院 検査室

## 検査項目情報 (その2)

	【項目名】	【項目名称】	【基準値】	【単位】	【検査の説明】
その他の生化学的検査	AMY	血中アミラーゼ	43-116	IU/L	アミラーゼ・リパーゼは膵臓の外分泌機能を知るための検査です。 血清鉄・不飽和鉄結合能・総鉄結合能は鉄欠乏性貧血の診断に有用です。 RFはリウマチなどの自己免疫性疾患の診断に有用な検査です。
	リパーゼ	リパーゼ	13-49	IU/L	
	CK(CPK)	クレアチンキナーゼ	男性:61-255 女性:45-170	IU/L	
	CKMB	クレアチンキナーゼ MB分画	25以下	IU/L	
	Fe	血清鉄	男性:80-199 女性:70-179	μg/dl	
	UIBC	不飽和鉄結合能	140-290	μg/dl	
	TIBC	総鉄結合能	250-355	μg/dl	
	浸透圧	血清浸透圧	274-296	mOsm/kg	
RF	リウマチ因子	0-15	IU/ml		
感染症検査	ASLO	抗ストレプトリジニンO抗体	200以下	IU/ml	細菌やウイルス感染を確認する検査です。TP抗体・RPRは梅毒感染の確認検査ですが、陽性でも感染しているとは限りません。 HBs抗原・抗体、HCV抗体は、血清肝炎の原因となるB型、C型肝炎ウイルスの感染を確認する検査です。
	TP抗体	抗梅毒トレポネーマ抗体	(-)		
	RPR	迅速プラズマリアギン	(-)		
	HBs抗原	B型肝炎s抗原	(-) 0.05未満	IU/ml	
	HBs抗体	B型肝炎s抗体	(-) 10.0未満	mIU/ml	
	HCV抗体	C型肝炎抗体	(-) 1.0未満	S/CO	
腫瘍マーカー検査	CEA	Carcino Embryonic Antigen	5.0以下	ng/ml	腫瘍性病変の診断に有用な検査です。(腫瘍以外でも高値となることがあります。)
	AFP	α-フェトプロテイン	13.4以下	ng/ml	
	CA19-9	CA19-9	37以下	U/ml	
	PSA	前立腺腫瘍マーカー	4.0以下	ng/ml	
血液一般検査	白血球数	白血球数	4.0-9.0	x1,000	血液一般検査は、血液疾患や血液に異常を来たす病態を診断したり、治療効果の判定に有用です。 赤血球、ヘモグロビンなどの検査は、貧血の種類の診断に有用です。 白血球の種類やその割合は、感染症などの診断や治療に有用です。 血小板は、出血の際の止血に関連して重要な役割を果たします。
	赤血球数	赤血球数	男性:410-530 女性:380-480	x10,000	
	血色素量	ヘモグロビン(血色素)	男性:13.0-18.0 女性:12.0-16.0	g/dl	
	ヘマトクリット	ヘマトクリット	男性:39.0-52.0 女性:35.0-48.0	%	
	MCV	平均赤血球容積	85.0-99.0	fl	
	MCH	平均赤血球血色素量	29.0-34.0	pg	
	MCHC	平均赤血球血色素濃度	31.0-36.0	g/dl	
	血小板数	血小板数	13.0-35.0	x10,000	
赤沈1時間	赤血球沈降速度(1時間値)	男性:2-10 女性:3-15	mm/hr		
凝固線溶検査	出血時間	出血時間	1-5	分	凝固線溶検査は、出血傾向や血栓症などの診断や治療に有用です。 経口抗凝固薬(ワーファリンなど)を服用している場合の治療調節の目安としても利用されます。
	凝固時間	凝固時間	5-10	分	
	プロトロンビ	プロトロンビン時間	70以上	%	
	APTT	活性化部分トロンボプラスチン時間	24-38	秒	
	フィブリノー	フィブリノーゲン定量	200-400	mg/dl	
	血FDP	血中フィブリノーゲン分解産物	5未満	μg/ml	
	Dダイマー	Dダイマー	1.0以下	μg/ml	
	ATⅢ	アンチトロンビンⅢ	80-130	%	
	トロンボテスト	トロンボテスト	70以上	%	
	ヘパプラスチ	ヘパプラスチンテスト	70以上	%	

検査結果や検査項目(記載以外の項目を含む)の詳細については、主治医にご確認願います。

小樽市立病院 検査室